

## 新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ②

令和3年12月検針分（主に10・11月使用分）

### 用途別の影響

令和3年12月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、水量は約31,000m<sup>3</sup>、2%の減、料金は約330万円、2%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約33,000m<sup>3</sup>、2%の減、料金は約390万円、3%の減となりました。

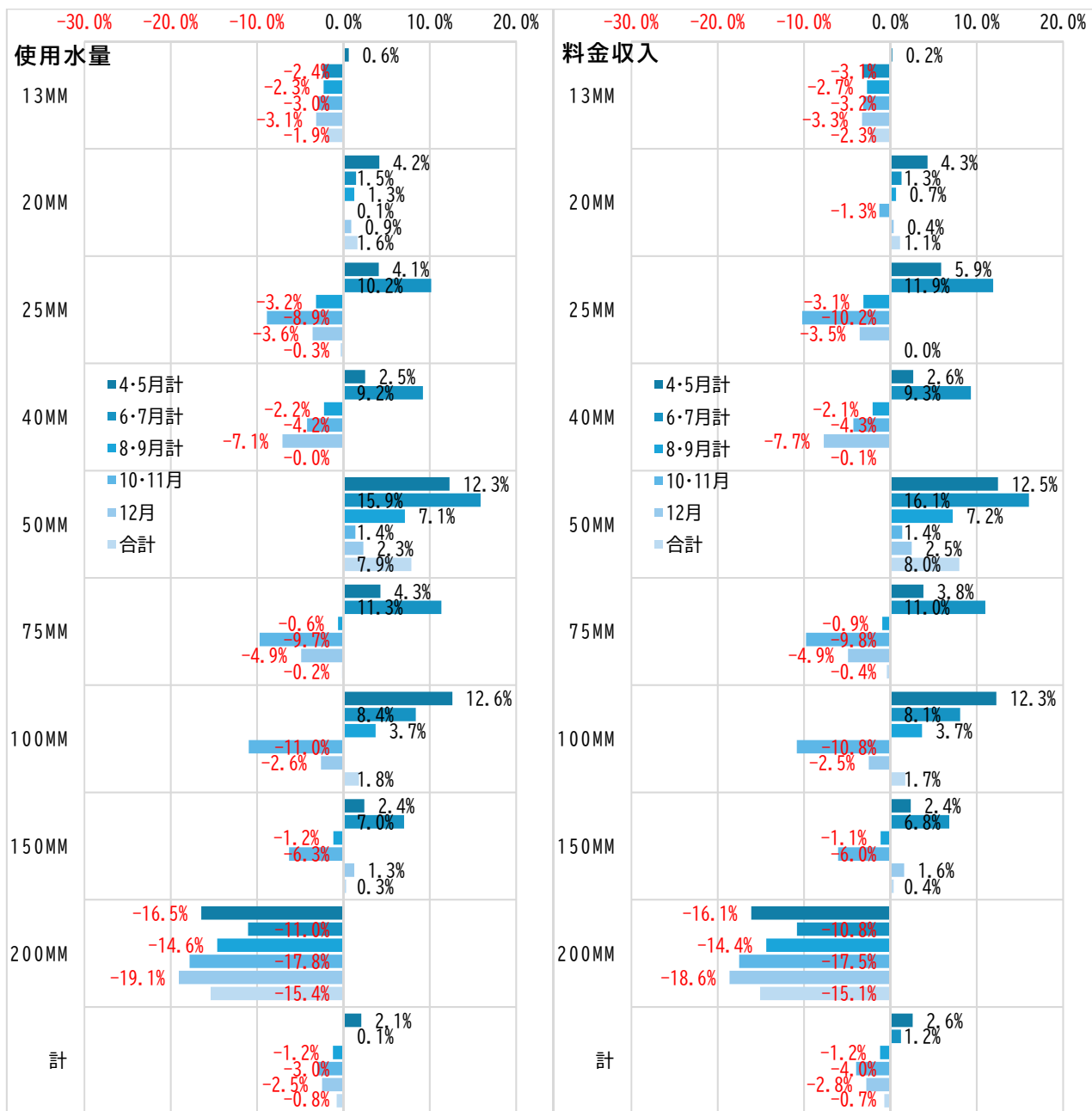
主に業務用となる25mm以上の口径は、前年度との比較では、水量は約10,000m<sup>3</sup>、3%の減、料金は約230万円、3%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約34,000m<sup>3</sup>、11%の減、料金は約810万円、11%の減となりました。

全口径の合計では、前年度との比較では水量は約41,000m<sup>3</sup>、2%の減、料金は約550万円、3%の減となり、前々年度との比較では水量は約66,000m<sup>3</sup>、4%の減、料金は約1,200万円、6%の減となりました。昨年12月は、巣ごもり需要の影響も一段落し、ほぼ前々年並みでしたが、それを下回る状況となりました。

検針年	区分	12月検針分（10・11月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量（m <sup>3</sup> ）	1,366,771	321,502	1,688,273
	金額（税抜き：円）	132,187,540	73,120,545	205,308,085
	供給単価（円）	96.72	227.43	121.61
R2	水量（m <sup>3</sup> ）	1,365,180	297,767	1,662,947
	金額（税抜き：円）	131,515,505	67,315,750	198,831,255
	供給単価（円）	96.34	226.07	119.57
R3	水量（m <sup>3</sup> ）	1,334,117	287,675	1,621,792
	金額（税抜き：円）	128,247,875	65,042,530	193,290,405
	供給単価（円）	96.13	226.10	119.18
対R2 増減  （コロナ後 との比較）	水量（m <sup>3</sup> ）	-31,063	-10,092	-41,155
	増減率	-2.28%	-3.39%	-2.47%
	金額（税抜き：円）	-3,267,630	-2,273,220	-5,540,850
	増減率	-2.48%	-3.38%	-2.79%
	供給単価（円）	-0.21	0.03	-0.38
対R1 増減  （コロナ前 との比較）	水量（m <sup>3</sup> ）	-32,654	-33,827	-66,481
	増減率	-2.39%	-10.52%	-3.94%
	金額（税抜き：円）	-3,939,665	-8,078,015	-12,017,680
	増減率	-2.98%	-11.05%	-5.85%
	供給単価（円）	-0.59	-1.34	-2.43
	増減率	-0.61%	-0.59%	-1.99%

### 口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、20mm、50mm、150mmを除く口径で減となりました。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

### 考察

主に家庭用の20mm以下は7月連続、主に業務用の25mm以上は4月連続の前年比減となりました。昨年同月は、新型コロナウイルス感染症の拡大による家庭での需要増が一段落していましたが、それをさらに下回り、業務用の25mm以上も需要が回復していないことから、合計でも前年を大きく下回りました。

料金収入の3分の1を占める25mm以上をみると、50mmと150mmで増加に転じたものの、40mmは減少に転じ、25mmは5月、75mmは4月、100mmは3月、200mmは9月連続の減少となっています。4月からのトータルでは、使用水量、料金収入ともに、先月初めて前年を下回ることになりましたが、今日はさらに、減少幅が拡大しました。堅調な家庭の需要にも陰りが見え始め、対前々年との比較では今年最大の減少となっており、今後の利用動向も注意深く観察する必要があります。